

# 福岡大学病院で実施されている人を対象とする医学系研究に関する情報公開

整理番号

14-5-13

研究課題名

禁煙のHDL機能に対する影響

研究責任者

循環器内科

教授

三浦 伸一郎

試料・情報の利用目的・方法

喫煙は動脈硬化や冠動脈疾患発症の大きなリスク因子です。タバコにはフリーラジカルなどの多種の酸化物質が含まれていることから、喫煙と動脈硬化の間には酸化ストレスが関わっているのではないかと考えられています。一方で「喫煙-酸化ストレス-動脈硬化形成」の詳細なメカニズムや、酸化ストレスのリポタンパク質に対する影響には不明な点が多いです。また、酸化ストレスはHDLの機能(多面的作用)を落とすとの報告もあります。そこで、タバコによるHDL機能に対する影響と禁煙の効果を調べるために、本研究を企画しました。この研究は「禁煙治療薬(チャンピックス・ニコチネルTTS)による禁煙治療介入の有効性比較試験」の血液サンプル・データを使用し行うものです。本研究では禁煙補助薬(チャンピックス・ニコチネルTTS)投与開始12週間後のHDL機能の変化を禁煙成功群と失敗群の比較、および禁煙成功群における禁煙前後の比較で行います。

研究期間: 開始日

承認日

～

2018/3/31

(予定終了日)

試料・情報の項目

血液検体は試験薬投与開始前及び12週間の治療終了後に、以前の研究「禁煙治療薬(チャンピックス・ニコチネルTTS)による禁煙治療介入の有効性比較試験」にて採血されたものを使用する。また、以前の研究で得られたデータも使用する。

試料・情報の管理責任者

研究責任者: 三浦 伸一郎

利用する者の範囲

研究責任者及び研究責任者が指名した研究者(福岡大学内)

他の研究機関への試料・情報の提供先:

※ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止しますので、下記へご連絡ください。

連絡先: 三浦 伸一郎

電話番号: 福岡大学病院(代表)092-801-1011

福岡大学病院 病院長